

# 文芸きくち

## 万句の里俳句会 11月句会

思ひ出の吾子重ねみる七五三  
蓮枯れて池に静寂のあるばかり  
幾万の願ひ携へ神の旅  
それなりに庭手入れして冬に入る  
晴れ着て今日は主役の七五三

宮本 敏子  
川口 二子  
岩木 敬治  
加藤 妙子  
宮本 雅子

## せせらぎ俳句会 11月例会

ラディッシュの紅の出過ぎし柿膾  
達者かと兄の電話や柿甘し  
飼料田の隅々までも穰伸ぶ  
華やかな祝賀御列に濃き秋日  
秋の夜のワイン明日へ残し置く

藤本アツ子  
森 正子  
坂崎ユキ子  
青木ユリ子  
藤本 邦治

## 旭志文芸教室俳句の会 11月詠草

秋の佐渡空海青きおけさ節  
たわわなる柿照らされて夕焼ける  
紅葉狩り余生のんびり娘等と  
溺死とふ牛いたましき台風禍  
災害や夕空の果て鰯雲

藤本けい子  
中尾ヨシコ  
芹川のり子  
水谷 ミネ  
芹川 蓉子

## 七城短歌会 11月詠草

研修の阿蘇に入りしな車窓越し原野のススキの穂波の歓迎  
カマキリが我が目を盗み卵二つ菊の小枝に産みつけいるも  
音立てて飛びたちし二羽の白鷺が私の頭上を回っているも  
庭隅の椿に蔓の登りつめ南瓜の三個真っ赤にいろどる  
藤袴もとめ舞い来しアサギマダラきらびやかなる羽休まする

緒方 寛子  
緒方 正俊  
高木 精  
嶋田 晴美  
渡辺 光夫

## 「里」短歌会 11月詠草

楢円なるボール一つを美しく競いて世界は今ノーサイド  
訪ね来て高台塗のおもてなし古民家抜ける風のやさしき  
涙目で手を振る吾子に後ろ髪引かれる思いで職場に向かう  
愛犬もわれも同時に年老いて膝に抱きつつ日向ぼこする  
黄金の花びらかさし石路の凜と映える令和の夜明け

宮本 淑子  
桑野 睦子  
原口 紗季  
山城 雅子  
松本 和子

## 溪流短歌会 12月詠草

喜びを鷲掴みせよ若き孫生きて在ること光より美し  
菊人形作りし人の名のなかに若き頃の友の名のあり  
写り終え親にかけ寄る幼子の安堵の笑顔 今日七五三  
秋の陽に映えて色増す大鉢のブルーゲンピリアの赤の目に染む  
涼しさは少しさびしさ連れてくる娘の電話に元気をもらう

中川 愛子  
岩根 博恵  
山田 弘子  
山城 雅子  
堤 よしみ

## 菊池短歌会 12月詠草

ITが作詞作曲したるなり美空ひばりの新しき歌  
新しき令和の元朝謹みて東方拝めば瑞光の漣  
秋麗の気の痛しもよ機上我が心いそげり病む者の辺に  
斐伊川の岸辺の朝月見草のひとつ咲きたりひとつはしほみ  
冬隣り菊は蕾のままにして武者人形に羽織かけたし

古賀 勝士  
中川 愛子  
奴留湯健蓉  
安藤 則子  
川口すみ子

### 【お詫びと訂正】

先月の広報12月号「菊池短歌会 11月詠草」に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

⑥ ゆらゆらと老いづく我のかたらわにペンとひらひら紙ありて良き

安藤 則子

⑦ ゆらゆらと老いづく我のかたらわにペンとひらひら紙ありて良き

安藤 則子

万句の里俳句会  
せせらぎ俳句会  
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151  
藤本 ☎0968(38)4087  
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761  
「里」短歌会 / 溪流短歌会  
木原 ☎090(5284)2418  
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285

入会希望など詳しくは、それぞれの句会や歌会にお尋ねください。